

2024年度実施選考試験向け

沖縄県教員候補者選考試験
国語過去問分析

 沖縄教員塾

目 次

第1章 国語の傾向	2
1-1 全体	2
1-2 学習指導要領	4
1-3 評論文・随筆	6
1-4 小説	8
1-5 古文	10
1-6 漢文	12
1-7 琉球・沖縄文学	14
1-8 韻文(詩・短歌・俳諧俳句)	16
1-9 国語知識	19
第2章 各年度の出題詳細	21
2-1 2023年度実施選考試験	21
2-2 2022年度実施選考試験	23
2-3 2021年度実施選考試験	25
2-4 2020年度実施選考試験	27
2-5 2019年度実施選考試験	29
2-6 2018年度実施選考試験	32
2-7 2017年度実施選考試験	35
2-8 2016年度実施選考試験	38
2-9 2015年度実施選考試験	41
2-10 2014年度実施選考試験	44
2-11 2013年度実施選考試験	47
2-12 2012年度実施選考試験	50
2-13 2011年度実施選考試験	53
2-14 2010年度実施選考試験	56
2-15 2009年度実施選考試験	59
2-16 2008年度実施選考試験	62
2-17 2007年度実施選考試験	65
2-18 2006年度実施選考試験	68
2-19 2005年度実施選考試験	71
2-20 2004年度実施選考試験	74
2-21 2003年度実施選考試験	77
2-22 2002年度実施選考試験	80
第3章 古文・漢文の出典	83
第4章 国語の対策	84

2023/12/23(土)

文学史

 沖縄教員塾

目次

第1章 出題分析	3
1-1 漢文学	3
1-2 日本文学史(古典)	5
1-3 日本文学史(近現代・散文)	8
1-4 日本文学史(近現代・韻文)	13
1-5 琉球文学史	15
1-6 沖縄文学史	17
1-7 外国文学	19
第2章 漢文学	21
2-1 諸子百家	21
2-2 歴史書	29
2-3 漢詩	31
2-4 近現代	34
第3章 日本文学史(古典)	35
3-1 上代の文学	35
3-2 和歌集	39
3-3 歌論	46
3-4 歌物語	46
3-5 つくり物語	47
3-6 日記	51
3-7 随筆	53
3-8 説話	55
3-9 歴史物語	56
3-10 軍記物語	58
3-11 歌謡・史論・歴史書・連歌集・御伽草子・能楽論・キリシタン文学	60
3-12 俳諧	63
3-13 元禄の三大文豪	65
3-14 近世の戯曲	67
3-15 近世の戯作	68
3-16 国学など	70
第4章 日本文学史(近現代・散文)	74
4-1 写実主義・擬古典主義	74
4-2 浪漫主義	75
4-3 自然主義	77
4-4 余裕派(高踏派)	80
4-5 耽美派	85
4-6 白樺派	86
4-7 新思潮派(理知派)	88
4-8 奇蹟派・叙情的ロマン派	90
4-9 プロレタリア文学	90

4-10 新感覚派	92
4-11 新興芸術派・新心理主義など	94
4-12 無頼派(新戯作派)	96
4-13 戦後派	100
4-14 第二次戦後派	100
4-15 第三の新人	102
4-16 その他の作家	103
4-17 現代の作家	108
4-18 近現代の評論	112
4-19 文芸雑誌	114
第5章 日本文学史(近現代・韻文)	117
5-1 詩	117
5-2 近現代の短歌	134
5-3 近現代の俳句	142
第6章 琉球文学史	148
6-1 琉球諸語	148
6-2 琉球・沖縄文学全般	149
6-3 歌謡	151
6-4 琉歌	160
6-5 説話文学	174
6-6 組踊	175
6-7 日記・評論・随筆	182
6-8 琉球和文学	183
6-9 琉球漢詩文	186
6-10 歴史書など	187
6-11 道德教本・古語辞典・地誌・その他	188
6-12 人物まとめ	189
第7章 沖縄文学史	190
7-1 伊波普猷と沖縄学	190
7-2 山之口獏	192
7-3 沖縄県出身の芥川賞受賞作家	195
7-4 沖縄県出身の他の作家・劇作家	198
7-5 沖縄県出身の他の詩人・歌人・俳人	200
7-6 沖縄芝居	203
7-7 琉球・沖縄に関連する作品	203
第8章 海外文学	205
8-1 イギリス	205
8-2 ドイツ	208
8-3 フランス	210
8-4 ロシア	214
8-5 アメリカ	217
8-6 その他	219

第1章 出題分析

小計・合計は一般教養・専門をあわせた数である。間違いの出題を含む。斜体字は一般教養での出題である。

1-1 漢文学

漢文学(1)		小計	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度	16 年度	15 年度	14 年度	13 年度	12 年度	11 年度	10 年度	09 年度	08 年度	07 年度	06 年度	05 年度	04 年度	03 年度	02 年度	
諸 子 百 家	儒家	4								1							1	1				1			
	孔子	2								1													1		
	『論語』	3								1	1			1											
	孟子	3								1									1				1		
	性善説	3								1													1		1
	『孟子』	2										1											1		
	荀子	5								1								1	1				1		1
	性悪説	2																					1		1
	『荀子』	1																							1
	五経	2								1	1														
	『易経』																								
	『書経』																								
	『詩経』																								
	『春秋』	1										1													
	『礼記』																								
	四書	1									1														
	『論語』(再掲)	3									1	1			1										
	『孟子』(再掲)	2										1											1		
	『大学』	1										1													
	『中庸』																								
	朱子学																								
	陽明学	1																							1
	道家	4									1							1	1				1		
	老子	3								1								1					1		
	無為自然	1									1														
	莊子	1								1															
	『莊子』	1																							
	墨家	1																					1		
	墨子	2																1					1		
	『墨子』	1																							
	法家	4									1							1	1				1		
	韓非子	2																1	1						
『韓非子』	3									1															
法治主義	1									1															
兵家	2																1	1							
孫武(孫子)	3								1							1		1							
『孫子』	2															1									
呉起																									
『呉子』	2								1																

1-5 琉球文学史

琉球文学史(1)	小計	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度	12年度	11年度	10年度	09年度	08年度	07年度	06年度	05年度	04年度	03年度	02年度
『おもろさうし』	14		1	1	1							1	1	1	1		1	1	1			1	1
恩納なべ	5				1						1				1							1	
よしや	3				1						1							1					
赤犬子	3																	1			1	1	
『琉歌百控』(琉歌集)	3	1					1							1									
『琉球大歌集』(琉歌集)	1						1																
『古今琉歌集』(琉歌集)	2	1					1																
『南島歌謡大成』(出版)	2													1	1								
『琉歌大成』(出版)	1						1																
曾益	1																1						
『執圭堂詩草』(漢詩文集)	1																1						
陳侃																							
『使琉球録』(冊封使録)	2																1						1
袋中	1								1														
『琉球神道記』(紀行文)	3						1		1														1
『琉球往来』(往来物)	1																						1
羽地朝秀	3		1						1								1						
『中山世鑑』(歴史書)	11		1				1		1	1	1				1	1		1			1		1
蔡鐸	2																2						
『歴代宝案』(外交文書集)	3						1								1	1							
識名盛命	3								1								1						1
『思出草』(擬古文)	3								1								1						1
『混効験集』(古語辞典)	11				1		1		1	1					1	1			1			1	1
蔡温	3								1								2						
『中山世譜』(歴史書)	6											1			1	1					1	1	
『独物語』(随筆)	2								1	1													
『女官御双紙』	1																1						
程順則	2								1								1						
『六諭衍義』(道德教本)	3						1			1									1				
『雪堂雜俎』(漢詩集)	1								1														
『雪堂燕遊草』(漢詩集)	1																1						
『琉球国由来記』(地誌)	9				1		1		1	1					1	1					1		1
徐葆光	1								1														
『中山伝信録』(冊封使録)	6				1				1						1	1							1
『琉球国旧記』(地誌)	1									1													
『球陽』(歴史書)	13				1		1		1	1	1	1		1	1	1		1			1		1
『遺老説伝』(説話集)	5				1				1	1								1					1
「白銀堂由来(白銀堂伝説)」	1									1													
『宮古島記事仕次』(歴史書)	1									1													
周煌																							
『琉球国志略』(冊封使録)	1								1														
伊江朝睦	1								1														
『伊江親方日記』																							
仲尾次政隆																							
『配流日記』	1								1														
林世功																							
『琉球詩録』(漢詩文集)	1											1											

2024年度実施選考試験向け

中学校学習指導要領

国語引用集

 沖縄教員塾

○読書

読書の意義や効用などに関する事項である。

読書は、国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである。自ら進んで読書をし、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養うために、国語科の学習が読書活動に結び付くよう発達の段階に応じて系統的に指導することが求められる。

なお、読書とは、本を読むことに加え、新聞、雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する資料を読んだりすることを含んでいる。

	第1学年 ㉒ ㉑ ㉒ ㉑ ㉒ ㉑	第2学年 ㉒ ㉑ ㉒ ㉑ ㉒ ㉑	第3学年 ㉒ ㉑ ㉒ ㉑ ㉒ ㉑
伝統的な言語文化	ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、 古典の世界に親しむ こと。 イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ア 作品 の特徴を生かして 朗読 するなどして、 古典の世界に親しむ こと。 イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、 古典に表れたものの見方や考え方 を知ること。	ア 歴史的背景 などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 イ 長く親しまれている言葉や古典の 一節 を引用するなどして使うこと。
言葉の由来や変化	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。		ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。
書写	エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 (ア) 字形を整え、 文字の大きさ 、 配列 などについて理解して、楷書で書くこと。 (イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、 身近な文字 を行書で書くこと。	ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 (ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 (イ) 目的や必要 に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。	エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。 (ア) 身の回りの多様な表現を通して 文字文化の豊かさ に触れ、 効果的に 文字を書くこと。
読書	オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。	エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、 自分の考えを広げたり深めたりする 読書に生かすこと。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える 読書の意義と効用 について理解すること。

3 [思考力, 判断力, 表現力等]の内容

A 話すこと・聞くこと

「話すこと・聞くこと」の指導事項 ㉓

内容の(1)は、学習過程に沿って、次のように構成している。

○話題の設定, 情報の収集, 内容の検討

○構成の検討, 考えの形成(話すこと)

二〇二四年度実施 沖縄県公立学校教員候補者選考試験問題

第3回 模擬試験

① 専門試験 9:00 ~ 10:00

高等学校 国語

マークシート記入上の注意

- 1 解答は、全てマークシートの問題番号に対応した解答欄に記入しなさい。
- 2 判別できないマークは、誤答となります。
- 3 解答の訂正は消しゴムで消し、くずはマークシートからきれいに取り除くこと。
- 4 受験番号は6桁の数字を記入し、0（ゼロ）を含む6桁全ての数字にマークすること。
- 5 氏名や受験番号を間違えて記入した場合、評価は行いません。
- 6 試験終了後のマークシート記入や確認は一切認められません。

諸注意

- 1 試験中は、ガムや飴等を含め一切の飲食は禁止です。
- 2 試験開始後は試験終了まで退室することはできません。
- 3 試験中トイレに行きたくなったり、気分不良の際は、挙手して申し出てください。
- 4 問題やマークシートで印刷の不明な点がありましたら、挙手して申し出てください。
- 5 試験開始後に受験者本人と写真票の確認をします。

一 次の文章は『高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）』の「国語表現」の一部である。1 ～ 10 に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次の①から④までの中から一つ選び記号で答えよ。

第5 国語表現

1 目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 - (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、1 伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 内容

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 言葉には、2 があることを理解すること。
 - イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、3 や言葉遣いを理解し、使い分けること。
 - ウ 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
 - エ 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。
 - オ 4 表現の技法について理解を深め使うこと。
 - (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
- 〔思考力、判断力、表現力等〕
- A 話すこと・聞くこと
- (1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。

2024年度実施選考試験向け

沖縄県教員候補者選考試験

中学校**国語**

模擬授業

 沖縄教員塾

目 次

第1章 過去問題	2
1-1 2023年度実施選考試験	2
1-2 2022年度実施選考試験	3
1-3 2021年度実施選考試験	4
1-4 2020年度実施選考試験	5
1-5 2019年度実施選考試験	6
1-6 2018年度実施選考試験	7
1-7 2017年度実施選考試験	8
1-8 2016年度実施選考試験	9
1-9 2015年度実施選考試験	10
1-10 2014年度実施選考試験	11
1-11 2013年度実施選考試験	12
1-12 2012年度実施選考試験	12
1-13 2011年度実施選考試験	13
1-14 2010年度実施選考試験	13
1-15 2009年度実施選考試験	14
第2章 過去問題分析	15
第3章 教科書研究	18